

## 総務省を名乗る不審電話にご注意を



### 【相談要旨】

総務省監視管理室を名乗り、「電話を2時間後に使用停止にする」と電話があったが、どうしたらよいですか。

### 【回答】

総務省の実在しそうな組織や職員を名乗り、「電話を2時間後に使用停止にする」等の自動音声により、ボタン操作を誘導する不審電話が確認されています。

このほかにも、総務省電波監理審議会サイバー対策室を名乗り、金銭をだまし取ることを目的に、「警察署に電話を転送します」や、総務省住民制度課の職員を名乗り、「健康保険証が使えなくなるため、マイナ保険証とマイナポータルの連携が必要」等の虚偽の説明を行い、特定のSNSアカウントに誘導する不審電話も確認されています。

総務省では、電話や通信の利用等に関して、個人情報を尋ねたり、金品を要求したりすることは、一切ありません。こうした電話にはくれぐれもご注意いただき、指示に従わず、すぐにお切りください。

被害が疑われる場合は、警察にご相談ください。

### 【一口メモ】

「+」から始まる番号（国際電話番号）から詐欺の電話がかかってくる事例が報告されています。心当たりがない電話には出ない、折り返しの電話をしない、万が一電話に出てしまっても電話を切り、個人情報を伝えないなど、注意が必要です。

普段、国際電話を利用しない方は、インターネットや電話からの申込みで国際電話の発信・着信を休止することができます。

また、総務省では、今年6月から迷惑電話対策相談窓口「でんわんセンター」（電話番号03-6162-1111、受付時間は平日午前10時～午後5時）を開設しています。「電話」について不安に感じがあれば、お気軽にご利用ください。

（令和7年11月3日 日本海新聞掲載）